

所属・氏名（ 保健医療学部 医療技術学科 氏名：丹野 福士 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (国内学会発表) 入学準備学習の試験結果を用いた学業成績の推計と介入余地の検討	共同 発表	2025 年 9 月	第 15 回中四国臨床工学会(広島)	<u>丹野福士</u> 、上月具举、徳毛悠真、武蔵健裕 入学準備学習への理解度を評価するための確認テストの得点と、1 年次もしくは 2 年次の GPA との間に強い正相関が認められた($r=0.757$ 、 $r=0.753$)。さらに、確認テストの得点が中央値よりも高い群(H 群)と低い群(L 群)に分けると、L 群で休学・留年、除籍・退学、転学科といった進級以外のイベントが生じやすかった。 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
2 (原著論文) SEM による生存下での微生物観察を目指した電子透過膜の作製と特性評価	共著	2025 年 3 月	医療科学雑誌 1 号 13-20 頁	上月具举、中山寛尚、 <u>丹野福士</u> 、縄稚典生、塩野忠彦 DLC 膜を透過した電子線が酵母菌の増殖能を奪うことはなく、細菌やウイルスなどの生体サンプルを生きたままの状態を観察できる可能性を示唆した。 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
3 (国内学会発表) 入学準備学習の改編と学力試験の実施ならびにリメディアル教育の推進に関する取り組み	共同 発表	2023 年 9 月	第 9 回臨床工学技士養成教員学術研究会(福岡)	<u>丹野福士</u> 、上月具举、徳毛悠真、武蔵健裕 学習意欲の向上は物足りないものであったが、学力試験の結果からリメディアル教育に関連する苦手分野を把握することができた。 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
4 (原著論文) 転写レベルでの新たなサイトカインバランス指標 TNF α /IL10 と透析歴との相関性の検討:糖尿病性腎症患者および慢性糸球体腎炎患者に対するオンライン HDF での比較《筆頭論文》	共著	2020 年 3 月	医療工学雑誌 14 号 15-25 頁	<u>丹野福士</u> 、速水啓介、新井翔太、中村雄二、中村俊平、沓野祥子、大場美果、清水希功 第 60 回日本透析医学会学術集会・総会での発表内容を論文としてまとめた。 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
5 (国際学会発表) New indices for evaluating biocompatibility of on-line hemodiafiltration in patients with diabetic nephropathy, based on cytokine balance in mRNA levels	共同 発表	2016 年 9 月	34 th Congress of the International Society of Blood Purification (Hiroshima Japan)	<u>Fukushi Tanno</u> , Keisuke Hayamizu, Yuji Nakamura, Syunpei Nakamura, Shota Arai, Shoko Kutsuno, Haruka Ohba, Reona Miyamoto 分母に白血球内の mRNA レベルでの HDF 前後の IL10 の変化量、分子に TGF β 1 の変化量をとった組合せ指標を作成することで、糖尿病性腎症患者でのみ透析歴とのあいだで強い正相関を得た(相関係数 0.70)。 共同研究につき本人担当部分抽出不可能

令和 8 年 4 月 14 日 現在